

# 春日井市水道事業経営戦略 進捗状況

平成 30 年度(2018 年度)



## 1. 平成 30 年度主な業務概要

体系	内 容
安全	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 水質検査計画改訂</li><li>・ 水安全計画改訂</li><li>・ 直結給水の推奨</li></ul>
強靱	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 耐震化 管路 1,248.16m（高蔵寺高区減圧弁室～玉野配水場 他）</li><li>・ 老朽化更新 管路 857.41m（花長町 他）</li><li>・ 愛知県、名古屋市との合同訓練</li><li>・ 送水管耐震化等検討業務</li></ul>
持続	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 廻間送水場及び関連施設（廻間配水場、神屋ポンプ場）の廃止</li><li>・ 愛知県水道広域化研究会参加</li><li>・ 配水管理事務所内照明器具 L E D 化</li></ul>

## 2. 財政計画進捗

### 収益の収支

(単位:千円)

	平成30年度 (2018年度) 決算	平成30年度 (2018年度) 経営戦略	増減差	執行率(%)	参考 平成29年度決算 (2017年度)
収益の収入	5,679,687	5,667,929	11,758	100.2	5,672,240
営業収益	4,672,635	4,705,994	△ 33,359	99.3	4,668,357
営業外収益	1,007,052	961,935	45,117	104.7	1,003,883
収益の支出	5,391,663	4,977,037	414,626	108.3	4,893,254
営業費用	5,316,921	4,902,406	414,515	108.5	4,810,112
営業外費用	74,742	74,631	111	100.1	83,142
経常損益	288,024	690,892	△ 402,868	41.7	778,986
特別利益	0	0	0	0.0	0
特別損失	1,556	2,000	△ 444	77.8	983
特別損益	△ 1,556	△ 2,000	444	77.8	△ 983
当年度純利益	286,468	688,892	△ 402,424	41.6	778,003

資本的収支

(単位:千円)

	平成30年度 (2018年度) 決算	平成30年度 (2018年度) 経営戦略	増減差	執行率(%)	参考 平成29年度決算 (2017年度)
資本的収入	333,594	471,792	△ 138,198	70.7	294,957
負担金	12,778	12,778	0	100.0	7,045
固定資産売却代金	0	0	0	0.0	0
工事収入	120,816	259,014	△ 138,198	46.6	87,912
分担金	0	0	0	0.0	0
他会計貸付金返還金	200,000	200,000	0	100.0	200,000
資本的支出	775,849	1,039,403	△ 263,554	74.6	3,963,850
建設改良費	462,125	725,679	△ 263,554	63.7	3,658,523
企業債償還金	313,724	313,724	0	100.0	305,327
資本的収入額が資本的支出額 に対し不足する額	△ 442,255	△ 567,611	125,356	77.9	△ 3,668,893
補填財源	442,255	567,611	△ 125,356	77.9	3,668,893
過年度損益勘定留保資金	442,255	567,611	△ 125,356	77.9	3,668,893
当年度損益勘定留保資金	—	—	—	—	—
建設改良積立金	—	—	—	—	—
内部留保資金残額	3,889,836	3,717,419	172,417	104.6	2,529,513

### 3. 計画指標進捗

#### 水道施設の計画的更新

(単位:%)

指標	説明	実績		目標	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和9年度 (2027 年度)
経年化設備率	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した電気・機械設備数}}{\text{電気・機械設備数}}$	30.0	0.0	0.0	0.0
経年化管路率	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}}$	8.9	15.9	27.4	38.4
管路更新率	$\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}}$	0.30	0.09	0.50	0.50

#### 水道施設の耐震化

(単位:%)

指標	説明	実績		目標	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和9年度 (2027 年度)
浄水施設耐震率	$\frac{\text{耐震対策の施された浄水施設能力}}{\text{全浄水施設能力}}$	76.2	100.0	100.0	100.0
配水池耐震施設率	$\frac{\text{耐震対策の施された配水池有効容量}}{\text{配水池等有効容量}}$	98.1	100.0	100.0	100.0
基幹管路の耐震適合率	$\frac{\text{耐震適合性のある管路延長}}{\text{基幹管路延長}}$	72.7	74.6	73.3	73.6
基幹管路の耐震化率	$\frac{\text{基幹管路の耐震管延長}}{\text{基幹管路延長}}$	34.9	35.5	35.6	36.9

将来を見据えた適正な施設の検証

(単位:%)

指標	説明	実績		目標	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和9年度 (2027 年度)
施設利用率	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}}$	68.7	70.8	68.5	67.8
施設最大稼働率	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}}$	73.8	79.4	75.8	75.0

収益の確保と経費の削減

(単位:%)

指標	説明	実績		目標	
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和9年度 (2027 年度)
経常収支比率	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$	115.9	105.3	108.3	111.2
給水収益に対する 企業債残高の割合	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}}$	64.6	57.8	24.1	2.7
料金回収率	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}}$	110.5	100.2	103.0	106.5

#### 4. 今後の主な業務概要

##### 令和元年度

体系	内 容
安全	・ 指定給水装置工事事業者の指定更新制の導入（更新手数料設定）
強靱	・ 耐震化 管路（大和配水場～東海記念病院 他） ・ 老朽化更新 管路（花長町 他） ・ 水道施設最適化検討業務
持続	・ 遊休土地の売却 ・ 水源水中ポンプのインバータ機能増設

##### 令和2年度予定

体系	内 容
強靱	・ 耐震化 管路 ・ 老朽化更新 管路
持続	・ 水道料金等管理システム構築